

2019 年 3 月 26 日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

# RPA ツール「WinActor®」の導入企業が 3,000 社を突破

NTT アドバンステクノロジー株式会社（以下：NTT-AT、本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：木村丈治）において提供中の RPA ツール「WinActor®」の導入実績が、3,000 社を突破いたしました。

NTT-AT では、2014 年から日本企業のワークフローにマッチした純国産 RPA<sup>※</sup>ツールである WinActor®を販売してまいりました。

パソコン 1 台から導入可能な WinActor®は、既存システムを大きく変更することなく、Windows®上の各種ソフトウェアで行われる定型業務を、あらかじめ作成したシナリオに基づき自動処理が可能なことから、働き方改革を推進する企業を中心に、2 年前から一気に導入が加速しました。

WinActor®の導入実績を見てみると、2018 年 4 月に 1,000 社、同年 10 月に 2,000 社、さらに約半年で新たに 1,000 社以上に導入いただき、このたび 3,000 社を超えることができました。WinActor®は、国内導入社数トップレベルの RPA として、IT、製造、流通・小売業を中心に、さまざまな業種、規模、民間、自治体などのお客様に幅広くご利用いただいています。

この間の主な取り組みでは、新製品として、企業内の複数の WinActor®やシナリオを効率よく管理するためのツールとして、2018 年 11 月にクラウドサービスの WinActor® Manager on Cloud を、2019 年 2 月にオンプレミス型の WinDirector® powered by NTT-AT を、それぞれ提供開始しました。

一方、販売促進活動にも力を入れており、公式サイトに専用ページ [winactor.biz](https://winactor.biz) (<https://winactor.biz/>) を立ち上げ、WinActor®に関するさまざまな情報を提供しています。中でも、汎用的な PC 操作を無償でシナリオに組み込むことができるプチライブラリは、提供を開始してから、ダウンロード実績が 1 万回を超えました。また、販売サポートならびに技術者育成に向けた認定研修制度の運用を開始するほか、福岡・仙台では地方セミナーを開催するなど、あらゆるお客様に WinActor®をご理解いただくための取り組みを行いました。

NTT-AT では、今後の取り組みとして、2019 年 4 月に RPA や AI 関連ビジネスを強化すべく、AI ロボティクス事業本部を発足いたします。WinActor®については、今後も「現場フレンドリー No.1 の RPA」としてさらに使いやすさを高めるため、メール受信機能をはじめとする様々な外部連携機能を実装していくほか、新しいサービスである従量課金型の「WinActor® Cast on Call」開始などにより、より多くのお客様の働き方改革・業務効率化のお役に立てるよう進化を続けます。

- ※ RPA= Robotic Process Automation
- ※ WinActor は NTT アドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。
- ※ WinDirector は株式会社 NTT データの登録商標です。
- ※ 記載された会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

**【商品に関するお問い合わせ先】**

NTT アドバンステクノロジー株式会社  
WinActor お問い合わせページ  
<https://winactor.biz/inquiry/winactor.html>

**【報道関係のお問い合わせ先】**

NTT アドバンステクノロジー株式会社  
経営企画部  
コーポレート・コミュニケーション部門  
担当: 加藤・須貝  
E-mail: [inquiry@ml.ntt-at.co.jp](mailto:inquiry@ml.ntt-at.co.jp)